



平成30年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年5月14日

上場会社名 株式会社ビーブレイクシステムズ
 コード番号 3986 URL <http://www.bbreak.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白岩 次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 熊田 圭一郎

TEL 03-5487-7855

四半期報告書提出予定日 平成30年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年6月期第3四半期の業績(平成29年7月1日～平成30年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第3四半期	848	4.3	121	3.4	121	2.0	85	4.3
29年6月期第3四半期	813		125		123		89	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第3四半期	58.60	55.40
29年6月期第3四半期	80.43	

(注) 当社は、平成28年6月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成29年6月期第3四半期の増減率は記載しておりません。
 また、平成29年6月期第3四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第3四半期	1,390	1,051	75.6
29年6月期	1,194	937	78.5

(参考) 自己資本 30年6月期第3四半期 1,051百万円 29年6月期 937百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期		0.00		11.00	11.00
30年6月期		0.00			
30年6月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年6月期の業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,191	7.9	179	5.6	179	14.9	125	15.0	85.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

新株予約権の行使が行われたため、業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該行使の影響を考慮しております。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.5「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3)四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年6月期3Q	1,536,280 株	29年6月期	1,383,200 株
期末自己株式数	30年6月期3Q	株	29年6月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	30年6月期3Q	1,447,446 株	29年6月期3Q	1,102,000 株

(注)当社は、平成29年3月2日付で普通株式1株につき20株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業業績や、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調を維持しましたが、北朝鮮および中東情勢の不透明感や、短期間で収束したものの世界的に株価が急落する場面があるなど、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社が属する市場および顧客においては、企業のシステム投資ニーズは非常に高いものとなっております一方で、エンジニアの需要も高水準を維持しており、人材確保は業界共通の課題となっております。

こうした環境の中、当社は、“ITで経営の今を変える、未来を変える”のコンセプトメッセージを掲げ、クラウドERP「MA-EYES」を中心としたパッケージ事業や、システムインテグレーション事業の強化に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高848百万円（前年同四半期比4.3%増）、営業利益121百万円（前年同四半期比3.4%減）、経常利益121百万円（前年同四半期比2.0%減）、四半期純利益85百万円（前年同四半期比4.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①パッケージ事業（保守サービス含む）

主力商品であるクラウドERP「MA-EYES」について、新規受注が堅調に推移し、また、一括版の保守料およびSaaS版の利用料に関する売上が増加したことから、売上高は450百万円（前年同四半期比18.4%増）、セグメント利益は211百万円（前年同四半期比22.7%増）となりました。

②システムインテグレーション事業

堅調なIT需要を背景に単価・稼働率とも堅調に推移いたしました。新規受注が好調であったパッケージ事業に一部エンジニアをシフトしたことから、売上高は398百万円（前年同四半期比8.0%減）、セグメント利益は109百万円（前年同四半期比9.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は1,390百万円となり、前事業年度末に比べ197百万円増加いたしました。これは主に、売上規模の拡大および新株予約権の行使に伴う現金及び預金の増加によるものであります。

当第3四半期会計期間末の負債合計は339百万円となり、前事業年度末に比べ82百万円増加いたしました。これは主に、パッケージ事業の新規受注および保守やSaaS版利用料に係る前受金の増加によるものであります。

当第3四半期会計期間末の純資産合計は1,051百万円となり、前事業年度末に比べ115百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益計上に伴う利益剰余金の増加および新株予約権の行使による資本金および資本剰余金の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、平成29年8月14日の「平成29年6月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	936,579	1,151,572
売掛金	158,684	175,036
有価証券	30,022	—
前払費用	14,419	10,886
繰延税金資産	4,653	4,653
未収収益	68	—
未収入金	230	164
立替金	—	327
その他	—	270
流動資産合計	1,144,656	1,342,910
固定資産		
有形固定資産	275	232
無形固定資産	8,908	7,451
投資その他の資産		
敷金	23,396	23,396
繰延税金資産	16,354	16,354
投資その他の資産合計	39,749	39,749
固定資産合計	48,933	47,432
資産合計	1,193,589	1,390,342
負債の部		
流動負債		
買掛金	15,108	15,242
未払金	14,847	6,482
未払費用	16,016	13,591
未払消費税等	17,332	11,685
未払法人税等	41,549	16,444
未払事業所税	1,563	1,228
前受金	83,017	167,082
預り金	15,854	10,245
賞与引当金	—	41,863
受注損失引当金	—	749
未払配当金	—	88
流動負債合計	205,285	284,699
固定負債		
退職給付引当金	51,643	54,225
固定負債合計	51,643	54,225
負債合計	256,928	338,924
純資産の部		
株主資本		
資本金	209,953	232,532
資本剰余金	263,383	285,962
利益剰余金	463,325	532,924
株主資本合計	936,661	1,051,418
純資産合計	936,661	1,051,418
負債純資産合計	1,193,589	1,390,342

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)
売上高	813,073	848,103
売上原価	462,528	485,421
売上総利益	350,545	362,683
販売費及び一般管理費	225,128	241,559
営業利益	125,416	121,123
営業外収益		
受取利息	4	8
有価証券利息	109	19
営業外収益合計	113	27
営業外費用		
支払利息	32	32
株式交付費	—	183
上場関連費用	2,098	—
営業外費用合計	2,130	215
経常利益	123,399	120,936
税引前四半期純利益	123,399	120,936
法人税等	34,763	36,122
四半期純利益	88,637	84,814

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成28年7月1日至平成29年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ事業	システムインテ グレーション事 業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	380,218	432,855	813,073	—	813,073
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	380,218	432,855	813,073	—	813,073
セグメント利益	171,541	120,479	292,020	△166,604	125,416

(注) 1. セグメント利益の調整額△166,604千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(自平成29年7月1日至平成30年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ事業	システムインテ グレーション事 業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	450,064	398,039	848,103	—	848,103
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	450,064	398,039	848,103	—	848,103
セグメント利益	210,529	109,383	319,912	△198,789	121,123

(注) 1. セグメント利益の調整額△198,789千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。